

吉野金峰山寺

住所 奈良県吉野郡吉野山
電話 0746 32 8371 (金峰山寺)
花どき 山桜(三月末〜四月初旬)

明日香から南へ下ると桜で有名な吉野へ至ります。吉野は「魂降り(たまふり)」の聖地といわれます。吉野の地名は「良き野」の意味。山と里のあいだの神霊と人間が交わる場所という意味もあるといえます。吉野に行場を開いた役小角(えんのおづぬ)は空中を飛んだり海上を走ったり鬼神を使ったりしたと伝わります。小角は葛城山に住み、呪術をよく使ったそうです。葛城といえは大和朝廷以前の勢力です。小角は仏教伝来後の文武天皇時代に天皇呪詛の疑いをかけられ、伊豆へ流されました。平安時代になると外来文化である仏教が現世利益に流れて墮落した寺院や僧侶を見放した僧や優婆塞(うぼそく)が吉野の山中で修行をしました。以後、吉野は後醍醐天皇や源義経など中央の政府に背を向けた人達が逃れたり隠れたり、兵を挙げたりするもの場所になりました。



藏王堂と桜

一目(ひとめ)千本と謳われる日本一の桜の山

吉野山の山桜は種類が四〇余種もあり、総数が三万本もあると言われます。桜の開花の季節には、ふもとから順に、吉野桜が、およそ二週間かけて下千本、中千本、上千本、奥千本の四地区を咲き上がって行き、奥千本で咲き終わります。中千本には、蔵王堂、仁王門、吉水神社、参道の店などが集まっています。多くの方が訪れています。桜の開花の盛りにはものすごい混雑で、道路幅も狭く車は避けた方がよいでしょう。電車やバス、ロープウェイを使った方が無難です。紅葉の季節には車で走ってもさほど混雑はありません。



下千本の桜と蔵王門



蔵王堂と参道

蔵王堂仁王門と参道

吉野山は山全体に広がっている桜にちなんでふもとから順に下千本、中千本、上千本、奥千本の4つの地区からなっており、観光の中心となる参道や寺院が集まっているのが中千本です。参道には名物の柿の葉寿司や吉野葛を売る店など、食べたり土産を売る店が並び、とても楽しい場所です。蔵王堂へは吉野山ロープウェイの終点、吉野駅から参道を歩いて約十分です。壬申の乱の時に兵を挙げた天武天皇は吉野から伊勢や東海方面へまわり、地方を味方につけて天智天皇勢を落としたといわれ、その後も妃の持統天皇ともども足繁く吉野に通ったと伝えられます。また、頼朝に追われた源義経が隠れ住んだりもしました。その後、南北朝時代には後醍醐天皇が吉野に南朝をたて、戦国時代には豊臣秀吉が吉野山で大規模な花見の宴をはったといわれます。吉野を訊ねるとそういう歴史に触れることができます。

暗がり峠

住所 生駒市西畑町
電話 0743 74 1111
(生駒市経済振興課)

暗がり峠は生駒山の標高四百五十五メートルの高さにあります。難波から奈良への「生駒越え」の重要な道筋にあり、昔は、大和と大阪を結ぶ主な峠道は、暗(くらがり)峠と鳴川と十三峠の三つあり、暗峠は生駒山越えの最短ルートでした。人が多く通ったころは、石畳の道の両側に旅籠や茶屋が建ち並び、賑やかな峠だったらしい。今も峠に茶屋があってハイキングの人々にぎわっています。信貴・生駒スカイラインからすぐ眼下にその石畳の道路が見え、茶屋の前へ降りる石段がついていますが車で降りることはできません。それで次の年に山越えの道を車で上がって試してみました。非常に狭い道ですれ違いが難しいようにつづら折れの道でしたがなんとか行けました。



暗がり峠